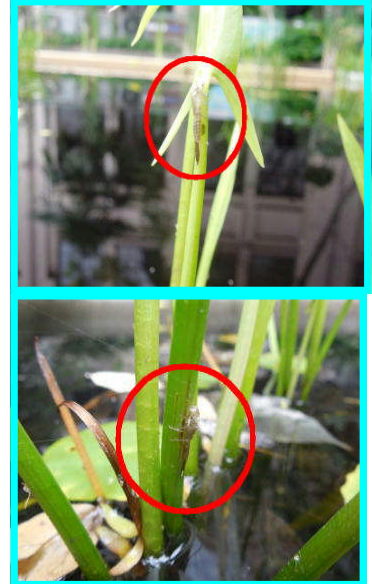


みんなのビオトープ

H27 第13号 (6月15日)・理科委員会

【トンボの成長について調べたよ】

12号で教頭先生とイトトンボの赤ちゃんを見つけたよと書きましたがよく調べてみたら、赤ちゃんではなくて、赤ちゃんが出て行ったあとのぬけがらだということが分かりました。そのあと、ビオトープをよく見たら、ほかの場所にもぬけがらがありました。全部で4つ見つけました。みんなのビオトープから、イトトンボの赤ちゃんが産まれているんだね。ちゃんと命が育っているんだ。素敵なことですね。少し、トンボの成長の様子について調べてみました。

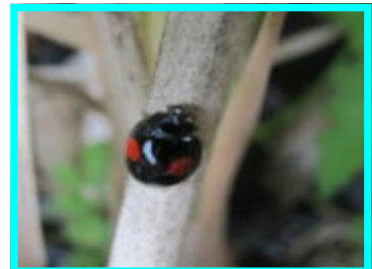


トンボの一生

- 1 夏の終わりに秋にかけて…卵を産む
- 2 冬に卵からかえってヤゴになる。ヤゴのまま冬を過ごす。ヤゴは、生きたものを食べる。(ミミズ、アカムシ、ボウフラ、ミジンコ、メダカ、オタマジャクシなど)
- 3 夏の初め…夜の間に草などに登り、羽化します。(トンボになる)
- 4 夏の間おなかいっぱいえさを食べ、好きな相手を見つけて卵を産む。そして、天国に行きます。

【ビオトープで見つけたよ】

ずっとさがしていた虫をやっと見つけました。右の写真です。みなさん、なんだか分かるよね。そう、テントウムシです。ふたつの模様があるからフタホシテントウかなと思って調べてみたら…、ちょっとちがうようです。ナミテントウって言うみたいです。このナミテントウは、赤の模様が2つだったり4つだったり、もっとたくさんだったりするんだって。



小さくてかわいらしいんだけど、肉食でアブラムシをむしゃむしゃ食べるそうですよ。みなさんもテントウムシを見つけたら教えてね。